



2021年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2021年1月29日

上場会社名 新光商事株式会社

上場取引所 東

コード番号 8141 URL <http://www.shinko-sj.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小川 達哉

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 一色 修志

TEL 03-6361-8111

四半期報告書提出予定日 2021年2月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第3四半期の連結業績(2020年4月1日～2020年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第3四半期	70,941	△6.7	782	△35.0	780	△33.5	472	△24.2
2020年3月期第3四半期	76,072	△15.3	1,203	△39.7	1,172	△38.6	623	△48.0

(注) 包括利益 2021年3月期第3四半期 471百万円 (△46.3%) 2020年3月期第3四半期 877百万円 (△15.1%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第3四半期	12.74	—
2020年3月期第3四半期	16.52	—

(注) 当社は、2019年10月1日付で、普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「1株当たり四半期純利益」を算定しております。また、2020年8月7日付で、自己株式2,200,000株の消却を行っております。なお、1株当たり四半期純利益の算定に使用する期中平均株式数は自己名義所有株式数を控除する他、役員向け株式給付信託が保有する自己株式を、前第3四半期連結累計期間594,960株、当第3四半期連結累計期間553,980株および従業員向け株式給付信託が保有する自己株式を、前第3四半期連結累計期間396,110株、当第3四半期連結累計期間385,280株、控除して算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期第3四半期	70,447	49,004	68.7	1,304.43
2020年3月期	71,993	49,544	68.0	1,321.73

(参考) 自己資本 2021年3月期第3四半期 48,394百万円 2020年3月期 48,932百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	27.00	—	14.00	—
2021年3月期	—	14.00	—	—	—
2021年3月期(予想)	—	—	—	14.00	28.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無: 無

(注) 当社は、2019年10月1日付で、普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。2020年3月期の第2四半期配当金については、当該株式分割前の実際の配当金の額を記載しております。

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	90,000	△11.4	600	△62.8	600	△66.1	380	△69.3	10.24

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料P.8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3)四半期連結財務諸表に関する注記事項」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料P.8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3)四半期連結財務諸表に関する注記事項」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2021年3月期3Q	47,510,566 株	2020年3月期	49,710,566 株
------------	--------------	----------	--------------

② 期末自己株式数

2021年3月期3Q	10,410,718 株	2020年3月期	12,688,620 株
------------	--------------	----------	--------------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

2021年3月期3Q	37,067,267 株	2020年3月期3Q	37,720,310 株
------------	--------------	------------	--------------

(注)

1. 当社は、2019年10月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「期末発行済株式数」、「期末自己株式数」及び「期中平均株式数」を算定しております。

2. 当社は、2020年8月7日付で、自己株式2,200,000株の消却を行っております。

3. 期末自己株式数には、役員向け株式給付信託が保有する当社株式数が、2020年3月期594,000株、2021年3月期3Q527,300株、従業員向け株式給付信託が保有する当社株式数が、2020年3月期390,600株、2021年3月期3Q379,300株含まれております。

4. 期中平均株式数の計算において控除する自己株式数には、役員向け株式給付信託が保有する当社株式数が、2020年3月期3Q594,960株、2021年3月期3Q553,980株、従業員向け株式給付信託が保有する当社株式数が、2020年3月期3Q396,110株、2021年3月期3Q385,280株含まれております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(会計方針の変更)	8
(会計上の見積りの変更)	8
(セグメント情報等)	9
(重要な後発事象)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染の影響長期化により、依然として厳しい状況で推移しました。このため、エレクトロニクス業界においても市況の低迷が続きましたが、一部では回復の兆しがみられました。

このような状況のもと、当社グループは、主要分野である産業機器関連・自動車電装機器関連・娯楽機器関連いずれも対前年同期比で減収となりました。

結果としましては、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高709億41百万円（前年同四半期比6.7%減）、営業利益7億82百万円（同35.0%減）、経常利益7億80百万円（同33.5%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益4億72百万円（同24.2%減）となりました。セグメントの業績は、次のとおりであります。

電子部品事業

電子部品事業におきましては、売上高は598億17百万円（前年同四半期比2.6%減）となりました。

① 集積回路

国内においては、自動車電装機器関連は低調に推移いたしましたが、OA機器関連・産業機器関連が堅調に推移いたしました。

海外においては、OA機器関連が低調に推移いたしました。

以上の結果、集積回路の売上高は304億47百万円（前年同四半期比5.9%増）となりました。

② 半導体素子

国内においては、産業機器関連が堅調に推移いたしました。

海外においては、通信機器関連が低調に推移いたしました。

以上の結果、半導体素子の売上高は82億74百万円（前年同四半期比0.7%増）となりました。

③ 回路部品

国内においては、自動車電装機器関連・産業機器関連が低調に推移いたしました。

海外においては、娯楽機器関連が低調に推移いたしました。

以上の結果、回路部品の売上高は99億97百万円（前年同四半期比9.2%減）となりました。

④ LCD等

国内においては、娯楽機器関連・OA機器関連が低調に推移いたしました。

海外においては、産業機器関連が低調に推移いたしました。

以上の結果、LCD等の売上高は12億94百万円（前年同四半期比47.4%減）となりました。

⑤ その他電子部品

国内においては、産業機器関連は堅調に推移いたしましたが、娯楽機器関連が低調に推移いたしました。

海外においては、自動車電装機器関連が低調に推移いたしました。

以上の結果、その他電子部品の売上高は98億3百万円（前年同四半期比10.6%減）となりました。

アッセンブリ事業

アッセンブリ製品

国内・海外ともに、娯楽機器関連・産業機器関連が低調に推移いたしました。

以上の結果、アッセンブリ製品の売上高は86億51百万円（前年同四半期比26.8%減）となりました。

その他の事業

電子機器及びマイクロコンピュータのソフトウェア受託開発

国内において、娯楽機器関連・OA機器関連向けの電子機器販売が低調に推移し、ソフトウェア受託開発も、自動車電装機器関連向けが低調に推移いたしました。

以上の結果、電子機器及びマイクロコンピュータのソフトウェア受託開発の売上高は24億72百万円（前年同四半期比12.8%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、704億47百万円となり、前連結会計年度末に比べ15億46百万円減少いたしました。これは主に、受取手形及び売掛金が12億61百万円、商品及び製品が36億32百万円、未収入金が15億59百万円、投資有価証券が6億91百万円増加したものの、現金及び預金が87億77百万円減少したこと等によるものであります。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債合計は、214億42百万円となり、前連結会計年度末に比べ10億5百万円減少いたしました。これは主に、支払手形及び買掛金が6億95百万円、繰延税金負債が1億97百万円増加したものの、電子記録債務が3億39百万円、短期借入金が1億45百万円、未払法人税等1億29百万円、賞与引当金が2億9百万円、流動負債その他が9億70百万円減少したこと等によるものであります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は490億4百万円となり、前連結会計年度末に比べ5億40百万円減少いたしました。これは主に、その他有価証券評価差額金が3億48百万円増加し、自己株式消却を行い自己株式が18億18百万円減少したものの、資本剰余金が1億89百万円、利益剰余金が21億67百万円減少したこと、為替換算調整勘定が3億48百万円減少したこと等によるものであります。

この結果、自己資本比率は68.7%（前連結会計年度末は68.0%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

景気見通しについては、第2四半期連結会計期間末時点では徐々に持ち直すものと想定していましたが、現在の世界的な新型コロナウイルスの感染再拡大により、今後の先行きについては不透明感が高まっている状況にあります。

このような環境のもと、当社グループの2021年3月期の連結業績予想につきましては、2020年10月29日に公表しました連結業績予想から変更はなく、連結売上高900億円、営業利益6億円、経常利益6億円、親会社株主に帰属する当期純利益3億80百万円を見込んでおります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	24,002	15,225
受取手形及び売掛金	20,525	21,787
商品及び製品	14,892	18,524
仕掛品	15	54
未収入金	6,706	8,265
その他	227	230
貸倒引当金	△6	△20
流動資産合計	66,363	64,067
固定資産		
有形固定資産	855	904
無形固定資産	597	515
投資その他の資産		
投資有価証券	2,277	2,968
繰延税金資産	149	149
その他	1,752	1,843
貸倒引当金	△3	△3
投資その他の資産合計	4,176	4,958
固定資産合計	5,630	6,379
資産合計	71,993	70,447
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	11,232	11,928
電子記録債務	2,289	1,950
短期借入金	1,466	1,320
1年内返済予定の長期借入金	600	3,100
未払法人税等	279	150
賞与引当金	454	244
役員賞与引当金	41	13
子会社整理損失引当金	15	—
その他	2,008	1,037
流動負債合計	18,388	19,745
固定負債		
長期借入金	2,500	—
繰延税金負債	48	245
再評価に係る繰延税金負債	4	4
役員株式報酬引当金	103	60
従業員株式報酬引当金	97	90
退職給付に係る負債	1,021	988
その他	284	306
固定負債合計	4,059	1,696
負債合計	22,448	21,442

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	9,501	9,501
資本剰余金	9,788	9,599
利益剰余金	39,064	36,896
自己株式	△10,122	△8,303
株主資本合計	48,233	47,694
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	410	759
繰延ヘッジ損益	△0	△0
土地再評価差額金	△50	△50
為替換算調整勘定	330	△18
退職給付に係る調整累計額	9	9
その他の包括利益累計額合計	699	699
非支配株主持分	611	610
純資産合計	49,544	49,004
負債純資産合計	71,993	70,447

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
売上高	76,072	70,941
売上原価	68,710	64,410
売上総利益	7,361	6,530
販売費及び一般管理費	6,157	5,747
営業利益	1,203	782
営業外収益		
受取利息	44	19
受取配当金	64	60
仕入割引	4	3
雑収入	48	84
営業外収益合計	161	167
営業外費用		
支払利息	52	42
為替差損	124	55
売上割引	2	2
支払補償費	—	57
雑支出	13	11
営業外費用合計	192	170
経常利益	1,172	780
特別利益		
投資有価証券売却益	56	—
特別利益合計	56	—
特別損失		
固定資産除売却損	0	7
投資有価証券評価損	—	6
子会社整理損失	181	—
支払和解金	—	20
ゴルフ会員権売却損	—	0
特別損失合計	181	33
税金等調整前四半期純利益	1,047	746
法人税等	407	273
四半期純利益	640	473
非支配株主に帰属する四半期純利益	16	0
親会社株主に帰属する四半期純利益	623	472

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
四半期純利益	640	473
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	421	348
繰延ヘッジ損益	△0	0
為替換算調整勘定	△188	△351
退職給付に係る調整額	5	0
その他の包括利益合計	237	△1
四半期包括利益	877	471
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	861	472
非支配株主に係る四半期包括利益	16	△1

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益(損失)に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益(損失)に当該見積実効税率を乗じて計算しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(会計上の見積りの変更)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	電子部品事業	アッセンブリ 事業	その他の事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	61,415	11,822	2,833	76,072	—	76,072
セグメント間の内部売 上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	61,415	11,822	2,833	76,072	—	76,072
セグメント利益	2,428	87	186	2,702	△1,498	1,203

(注) 1. セグメント利益の調整額△1,498百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,498百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない管理部門経費及び共通経費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	電子部品事業	アッセンブリ 事業	その他の事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	59,817	8,651	2,472	70,941	—	70,941
セグメント間の内部売 上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	59,817	8,651	2,472	70,941	—	70,941
セグメント利益	2,147	139	128	2,415	△1,632	782

(注) 1. セグメント利益の調整額△1,632百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,632百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない管理部門経費及び共通経費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。